

医療的ケア児支援研修会の実施に係る事前アンケート調査票

所属機関（保育園等の名称）

回答者（園長・保育士・看護師・その他）

看護師

（プルダウン）

- 1) 医療的ケア児を貴施設・事業所において受け入れるにあたりどんな不安がありますか。

〔回答〕

・一口に経管栄養、導尿といっても、対象児の鼻腔の向きや狭さ、チューブへの感覚の過敏さ等があり、挿入の難易度が異なること。また、臨床から長年離れており、自分がすぐに感覚を取り戻せるのかということ。

- 2) どうしたらその不安を解消または軽減できると思いますか。

〔回答〕

・医療的ケア看護師講習会に参加すること。主治医からの指示書だけでは情報が不十分なので、入園前に訪問看護師等から情報収集できるとよい。

- ※ すでに医療的ケア児を受け入れている場合は次の質問にもお答えください。（なければ終了です。ご協力ありがとうございました。）

- 3) 受け入れた児について、必要な医療的ケアの内容は何ですか。

〔回答〕

・2024年度経管栄養→経口摂取できるようになり胃管抜去。2025年度導尿

- 4) 医療的ケア児を受け入れて、何が大変でしたか。

〔回答〕

・医療的ケアそのものより、原因疾患に伴う症状（激しい嘔吐、体温調節がうまくできない）への対応。また、そのことについては事前に知らされてなかった。対象児は医療的ケアが必要であるだけでなく、知的障害、身体障害もあわせもっていたため、在籍クラスでの活動にどのように参加するか、他児とどのように交流するか試行錯誤であった。

- 5) 「このようにしたら、うまくいった。」など、成功事例があれば教えてください。

〔回答〕

・受け入れた子供は二人とも、保育所等訪問支援をうけていたため、訪問看護師、作業療法士、理学療法士と情報共有し、わからないことについては質問ができた。また、そのことで対象児の安全安心な保育園生活についてチームとして活動していることを保護者も実感し、安心してくれたように思う。また、医療的ケア児の受け入れは看護師より保育士の方が不安は強いと思われるため、機会あるごとに対象児の疾患や状態について説明し、不安軽減に努めた。私は看護師と保育士の両資格を有し、加配保育士として対象児につきながら医療的ケアを行っているため、体調の変化だけでなく、感情や意思表示の変化、活動の参加状況等詳細に保護者に伝えることが出来、保護者、対象児と良好な関係が築けていると思う。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。